

令和元年度 第18回 県政モニターアンケート調査結果

廃棄物・リサイクル対策課（099-286-2594）

- テーマ 「ごみの減量化」に関する意識調査アンケート
- 調査目的 九州地方知事会政策連合の取組の一つである「ごみの減量化」について、今後取り組む施策の参考として活用するため。（九州7県で同内容のアンケートを実施）
- 調査期間 令和2年3月
- 調査対象 200人
- 回答者数 151人（76%）

問1 あなたの職業をお答えください。

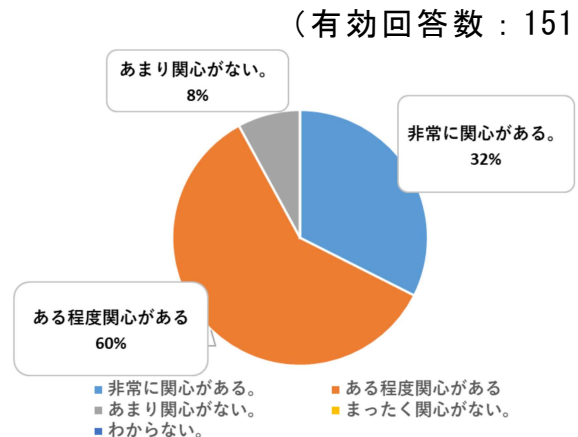
（有効回答数：150）

選択肢	回答数	割合
会社員	30	20%
自営業	18	12%
農林水産業	5	3%
パート・アルバイト	42	28%
無職	38	25%
その他	17	11%

問2 あなたはごみに関する問題にどの程度関心がありますか。

（有効回答数：151）

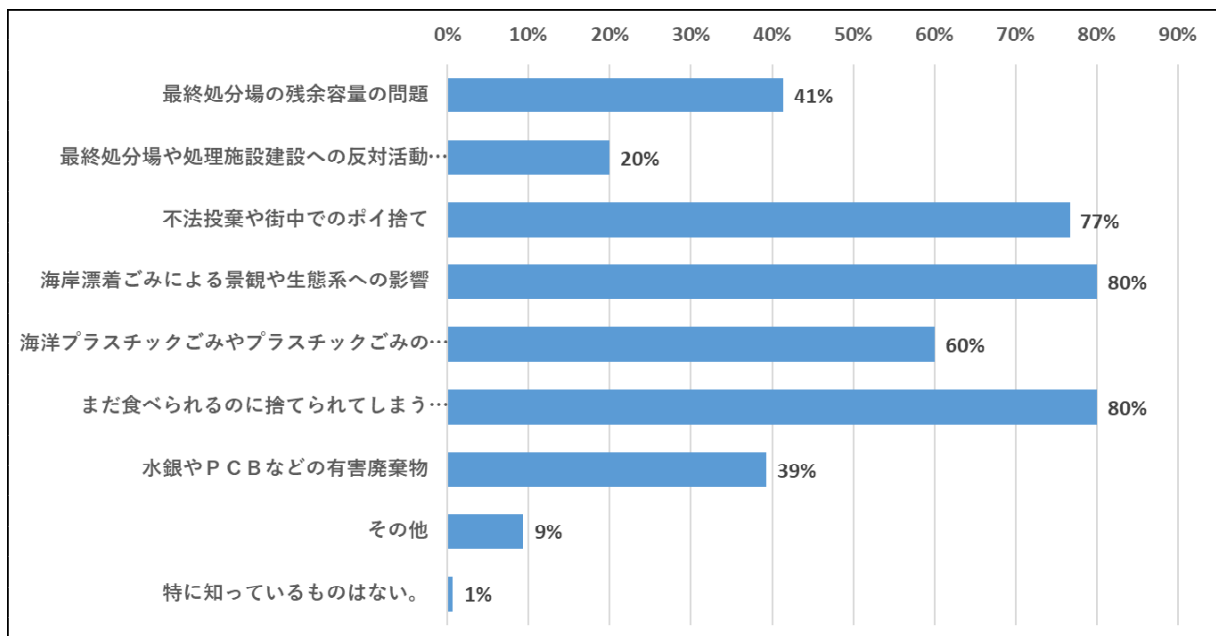
選択肢	回答数	割合
非常に関心がある。	49	32%
ある程度関心がある	90	60%
あまり関心がない。	12	8%
まったく関心がない。	0	0%
わからない。	0	0%



問3 あなたは、ごみに関する問題について、どのようなことに興味がありますか。  
(複数選択可)

(有効回答数：150)

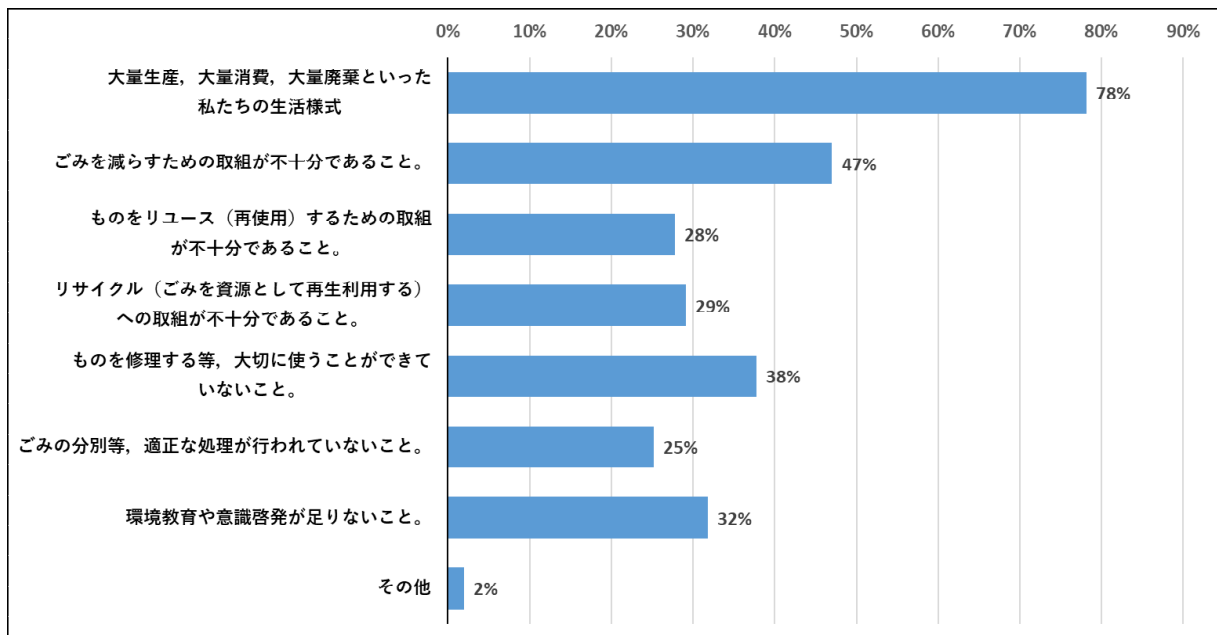
選択肢	回答数	割合
最終処分場の残余容量の問題	62	41%
最終処分場や処理施設建設への反対活動 (施設は必要だが、近くに建設はNGなど)	30	20%
不法投棄や街中でのポイ捨て	115	77%
海岸漂着ごみによる景観や生態系への影響	120	80%
海洋プラスチックごみやプラスチックごみの海外輸出に係る諸問題	90	60%
まだ食べられるのに捨てられてしまう食品いわゆる食品ロス	120	80%
水銀やPCBなどの有害廃棄物	59	39%
その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化の過程での取組</li> <li>・ごみ出しの違反について</li> <li>・コンビニやスーパーでのレジ袋の無料配布</li> <li>・ごみ袋有料化について</li> <li>・ごみの飛散や落下物</li> <li>・原発から出される廃棄物</li> <li>・着られなくなった衣類やリサイクルしてからの流通経路</li> <li>・繁華街のごみ収集場所の対策（不法投棄やガラスによる散乱など）</li> <li>・タバコの道路上でのポイ捨て</li> <li>・どうやったら家庭ごみを減らせるか</li> <li>・ごみのリサイクルの実態（リユース）</li> <li>・家庭台所で発生した生ごみの二次利用（たい肥など）</li> </ul>	14	9%
特に知っているものはない。	1	1%



問4 ごみ問題について、私たちの社会の何が原因だと思いますか。  
(3つまで選択可)

(有効回答数：151)

選択肢	回答数	割合
大量生産、大量消費、大量廃棄といった私たちの生活様式	118	78%
ごみを減らすための取組が不十分であること。	71	47%
ものをリユース（再使用）するための取組が不十分であること。	42	28%
リサイクル（ごみを資源として再生利用する）への取組が不十分であること。	44	29%
ものを修理する等、大切に使うことができていないこと。	57	38%
ごみの分別等、適正な処理が行われていないこと。	38	25%
環境教育や意識啓発が足りないこと。	48	32%
その他 ・ごみに関する人の意識（法律、ルール、マナー）の低さ ・家庭に密接に関係している事への無関心さの常態化 ・分別に対しての理解ができていない ・ごみの最終処分の実態を知らない事が問題	3	2%

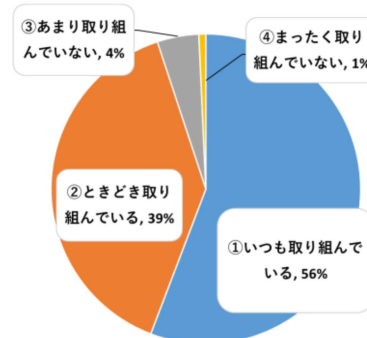


問5 日頃の生活の中でのごみを減らすための取組に係る次の1～19について、  
①～④のうち、あてはまるものに○をつけてください。また、1～18の取組以外に取り組んでいるものがある場合は、「19（その他）」の欄に取組の内容を具体的に御記入いただき、①～④の当てはまるものに○をつけてください。

(有効回答数：138)

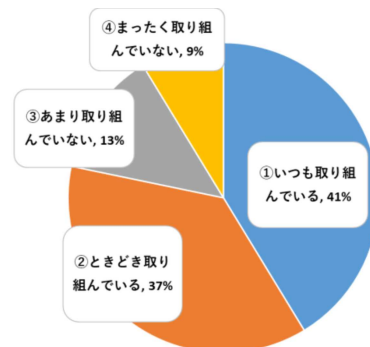
(1) 不要なものは買わないようにする

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	77	56%
②ときどき取り組んでいる	54	39%
③あまり取り組んでいない	6	4%
④まったく取り組んでいない	1	1%



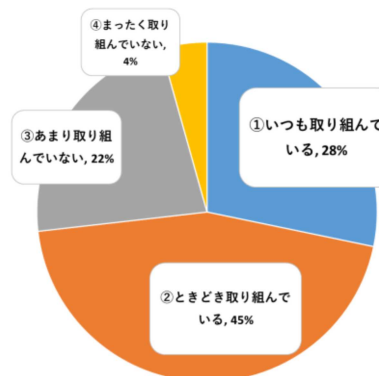
(2) マイバッグを持参してレジ袋をもらわないようにする。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	57	41%
②ときどき取り組んでいる	51	37%
③あまり取り組んでいない	18	13%
④まったく取り組んでいない	12	9%



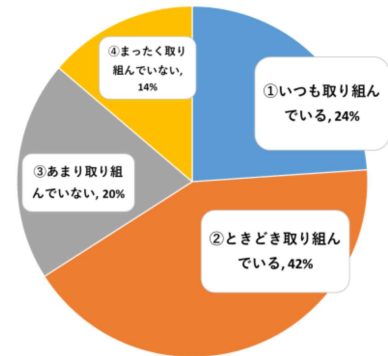
(3) 簡易包装の商品を購入する。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	39	28%
②ときどき取り組んでいる	62	45%
③あまり取り組んでいない	31	22%
④まったく取り組んでいない	6	4%



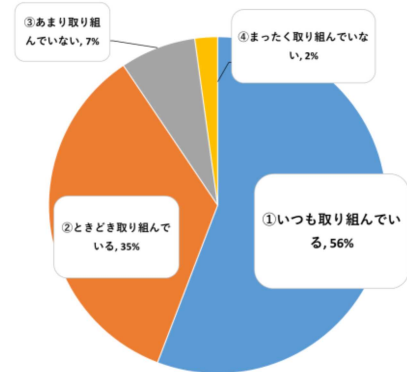
(4) マイボトルやマイ箸を持参するなど、リユース品の使用を心がける。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	33	24%
②ときどき取り組んでいる	58	42%
③あまり取り組んでいない	28	20%
④まったく取り組んでいない	19	14%



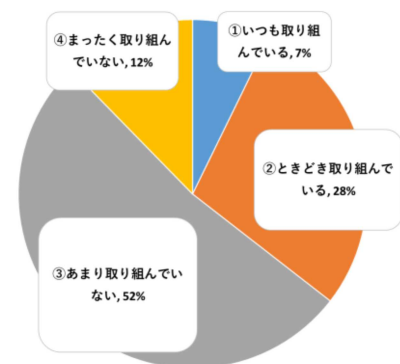
(5) 使い捨て商品を買わず、詰め替え用商品を選ぶようにする。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	77	56%
②ときどき取り組んでいる	48	35%
③あまり取り組んでいない	10	7%
④まったく取り組んでいない	3	2%



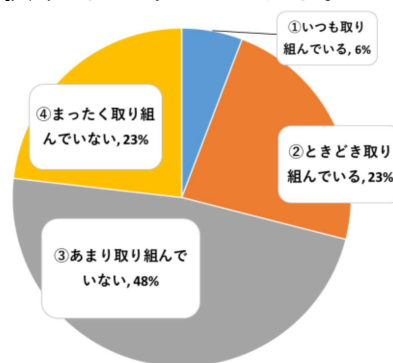
(6) プラスチック製品の購入や使用を極力避けるようにしている。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	10	7%
②ときどき取り組んでいる	39	28%
③あまり取り組んでいない	72	52%
④まったく取り組んでいない	17	12%



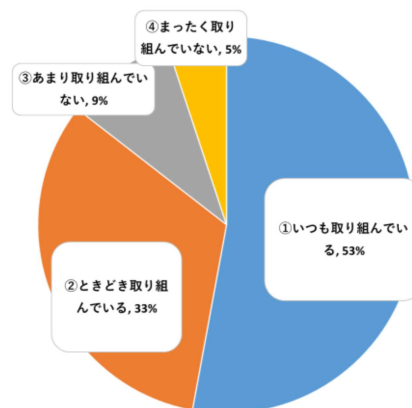
(7) プラスチック削減に取り組む企業の商品を選択するよう心がける。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	8	6%
②ときどき取り組んでいる	32	23%
③あまり取り組んでいない	66	48%
④まったく取り組んでいない	32	23%



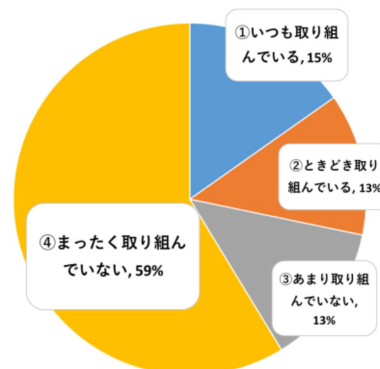
(8) 小盛りメニューを注文する等、食べ残しによるごみを出さないようにする。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	73	53%
②ときどき取り組んでいる	45	33%
③あまり取り組んでいない	13	9%
④まったく取り組んでいない	7	5%



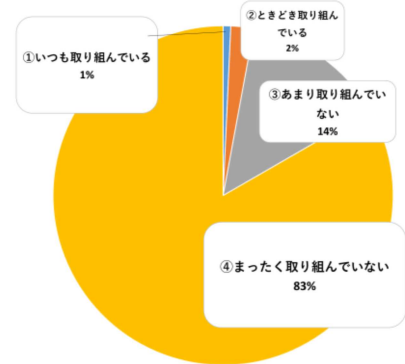
(9) 生ごみを堆肥にする。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	21	15%
②ときどき取り組んでいる	18	13%
③あまり取り組んでいない	18	13%
④まったく取り組んでいない	81	59%



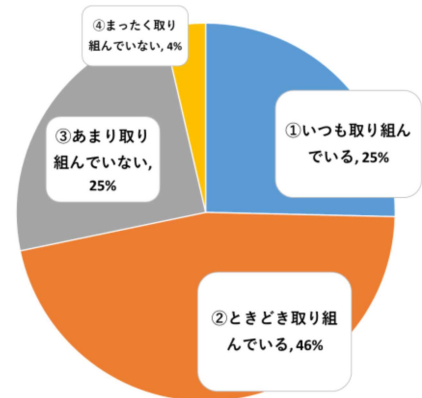
(10) フードバンクなどを通じて、余った食品などを提供する。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	1	1%
②ときどき取り組んでいる	3	2%
③あまり取り組んでいない	19	14%
④まったく取り組んでいない	115	83%



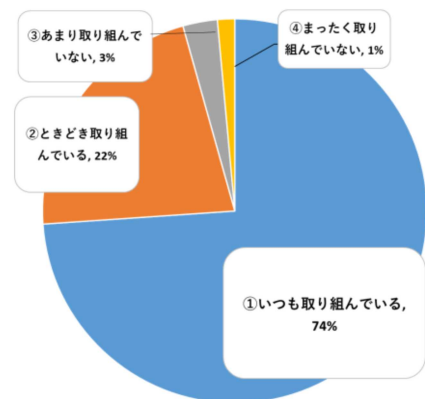
(11) 壊れたものを修理して使うなど、ものを大切に使う。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	35	25%
②ときどき取り組んでいる	64	46%
③あまり取り組んでいない	34	25%
④まったく取り組んでいない	5	4%



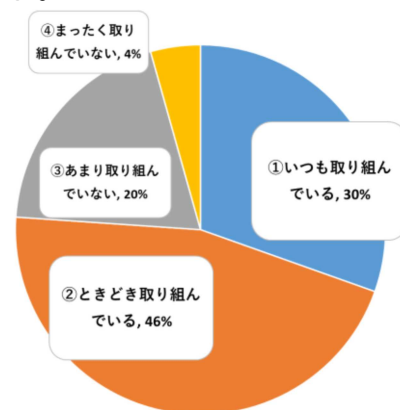
(12) ごみをリサイクルしやすいように、きちんと分別する。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	102	74%
②ときどき取り組んでいる	30	22%
③あまり取り組んでいない	4	3%
④まったく取り組んでいない	2	1%



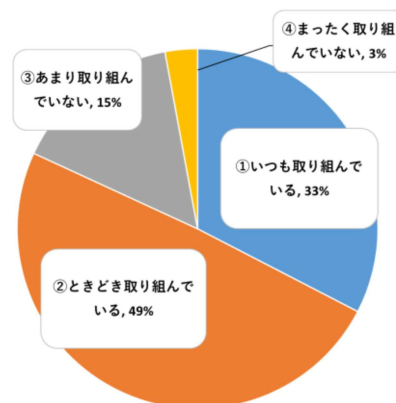
(13) ごみが落ちていたら、率先して拾うようにする。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	42	30%
②ときどき取り組んでいる	63	46%
③あまり取り組んでいない	27	20%
④まったく取り組んでいない	6	4%



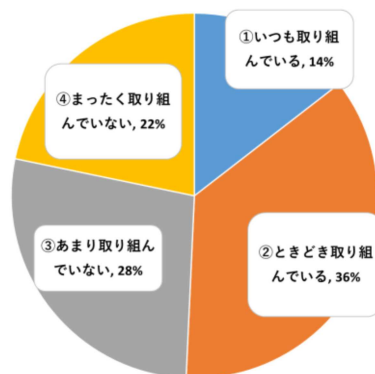
(14) 一度使った封筒や片面使用済みの紙の裏を再使用するなど、できるだけものを再使用するようにする。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	45	33%
②ときどき取り組んでいる	68	49%
③あまり取り組んでいない	21	15%
④まったく取り組んでいない	4	3%



(15) リサイクルショップやフリーマーケット、ネットオークションを利用する。

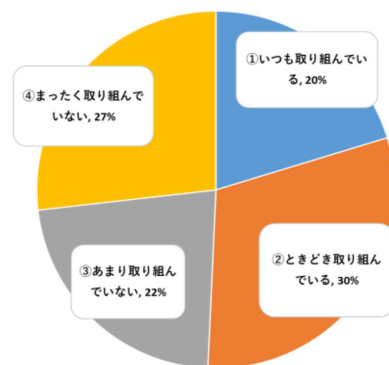
選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	20	14%
②ときどき取り組んでいる	50	36%
③あまり取り組んでいない	38	28%
④まったく取り組んでいない	30	22%





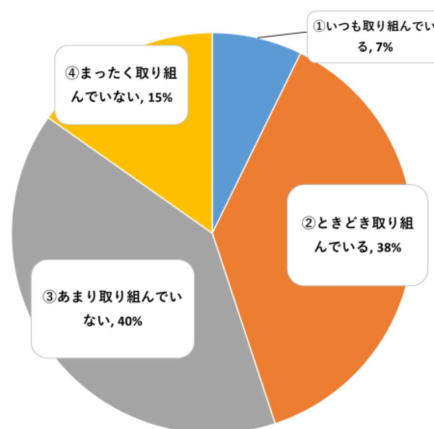
(16) 使わなくなった携帯電話等を回収ボックスへ投入するなど、店舗や自治体等が設置している品目専用の回収を利用する。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	28	20%
②ときどき取り組んでいる	42	30%
③あまり取り組んでいない	31	22%
④まったく取り組んでいない	37	27%



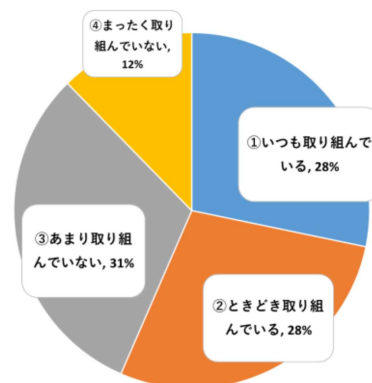
(17) リサイクルされた製品を使う。

選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	10	7%
②ときどき取り組んでいる	52	38%
③あまり取り組んでいない	55	40%
④まったく取り組んでいない	21	15%



(18) すぐに食べるものは、賞味期限・消費期限の短いものから買うようにする。

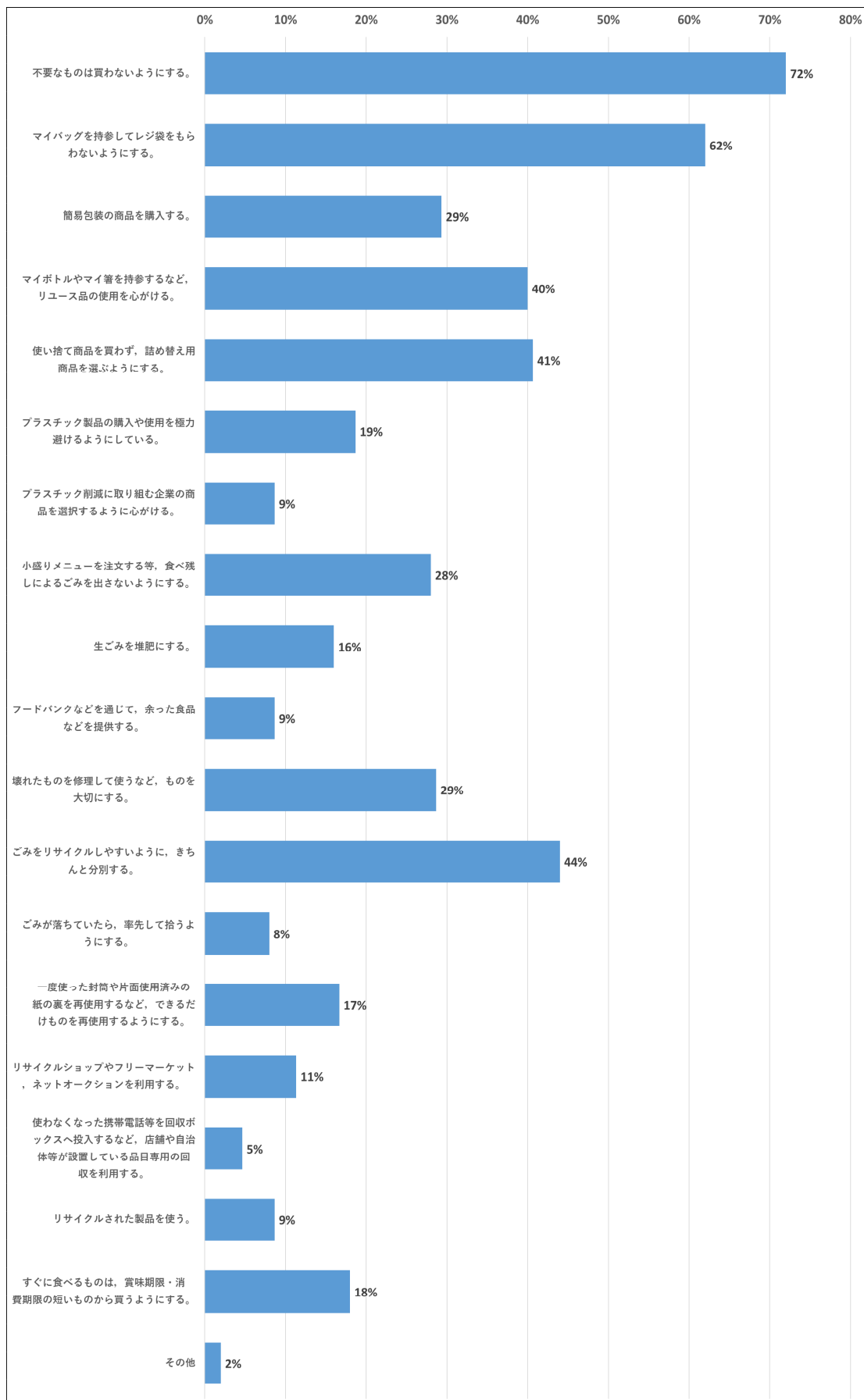
選択肢	回答者数	割合
①いつも取り組んでいる	39	28%
②ときどき取り組んでいる	39	28%
③あまり取り組んでいない	43	31%
④まったく取り組んでいない	17	12%



問6 ごみを減らすために特に取り組んでいくべきことは何だと思いますか。  
(5つまで選択可)

(有効回答数：151)

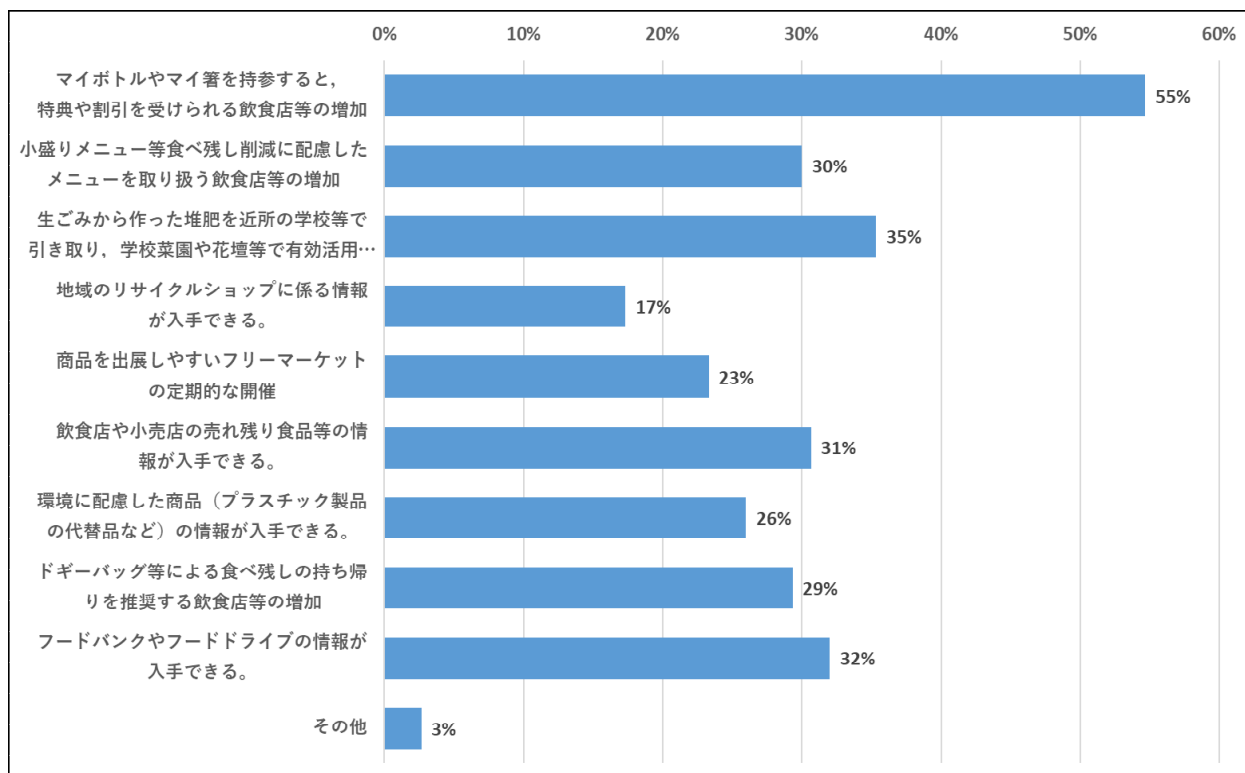
選択肢	回答数	割合
不要なものは買わないようにする。	108	72%
マイバッグを持参してレジ袋をもらわないようにする。	93	62%
簡易包装の商品を購入する。	44	29%
マイボトルやマイ箸を持参するなど、リユース品の使用を心がける。	60	40%
使い捨て商品を買わず、詰め替え用商品を選ぶようにする。	61	41%
プラスチック製品の購入や使用を極力避けるようにしている。	28	19%
プラスチック削減に取り組む企業の商品を選択するように心がける。	13	9%
小盛りメニューを注文する等、食べ残しによるごみを出さないようにする。	42	28%
生ごみを堆肥にする。	24	16%
フードバンクなどを通じて、余った食品などを提供する。	13	9%
壊れたものを修理して使うなど、ものを大切に使う。	43	29%
ごみをリサイクルしやすいように、きちんと分別する。	66	44%
ごみが落ちていたら、率先して拾うようにする。	12	8%
一度使った封筒や片面使用済みの紙の裏を再使用するなど、できるだけものを再使用するようにする。	25	17%
リサイクルショップやフリーマーケット、ネットオークションを利用する。	17	11%
使わなくなった携帯電話等を回収ボックスへ投入するなど、店舗や自治体等が設置している品目専用の回収を利用する。	7	5%
リサイクルされた製品を使う。	13	9%
すぐに食べるものは、賞味期限・消費期限の短いものから買うようにする。	27	18%
その他 ・企業のごみ問題に関する意識の低さと従業員へのマニュアルの見直しの必須化 ・SDGsとの整合性の確保 ・ごみ処理場の見学	3	2%



問7 次の施策のうち、ごみの減量化に取り組むきっかけとなりそうなものは何ですか。  
(3つまで選択可)

(有効回答数：150)

選択肢	回答数	割合
マイボトルやマイ箸を持参すると、特典や割引を受けられる飲食店等の増加	82	55%
小盛りメニュー等食べ残し削減に配慮したメニューを取り扱う飲食店等の増加	45	30%
生ごみから作った堆肥を近所の学校等で引き取り、学校菜園や花壇等で有効活用する仕組みの増加	53	35%
地域のリサイクルショップに係る情報が入手できる。	26	17%
商品を出展しやすいフリーマーケットの定期的な開催	35	23%
飲食店や小売店の売れ残り食品等の情報が入手できる。	46	31%
環境に配慮した商品（プラスチック製品の代替品など）の情報が入手できる。	39	26%
ドギーバッグ等による食べ残しの持ち帰りを推奨する飲食店等の増加	44	29%
フードバンクやフードドライブの情報が入手できる。	48	32%
その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品流通の1/3制(※)を廃止。消費期限近くのを割引きで販売する。</li> <li>・ごみ減量化が世間ではさげばれているから。</li> <li>・ごみの不法投棄現場を通り、ごみ拾いをするイベント(ウォーキング+ごみ拾い=スポーツごみ拾い)の定期的な実施、継続</li> <li>・ごみ処理場の見学</li> </ul>	4	3%



※賞味期間の1/3までに、小売に納品しなければならない商慣習上のルール

問8 普段の生活の中で、ごみの減量化に向けた取り組み等について、どこで情報を入手していますか。（3つまで選択可）（有効回答数：150）

選択肢	回答数	割合
県や市町村の発行している広報誌やパンフレット	103	69%
県や市町村などのホームページ	16	11%
町内自治会からのお知らせ（回覧など）	59	39%
テレビ・ラジオのニュースや番組	64	43%
新聞・雑誌の記事（紙媒体）	57	38%
新聞・雑誌、SNSなどの記事（インターネット）	32	21%
イベント・祭りなどのキャンペーン	12	8%
スーパー等の小売店や流通業者の広告	13	9%
家族や知人・友人	22	15%
子供（学校・PTAなどの情報）	7	5%
その他 ・ 県や市の施設 ・ 地域の婦人会	2	1%

